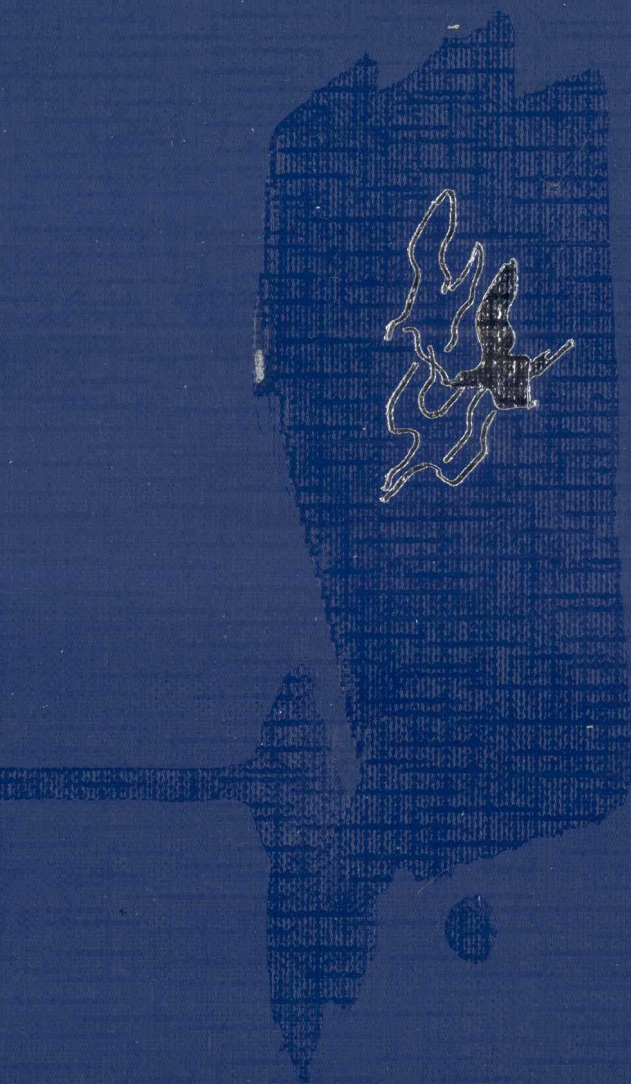
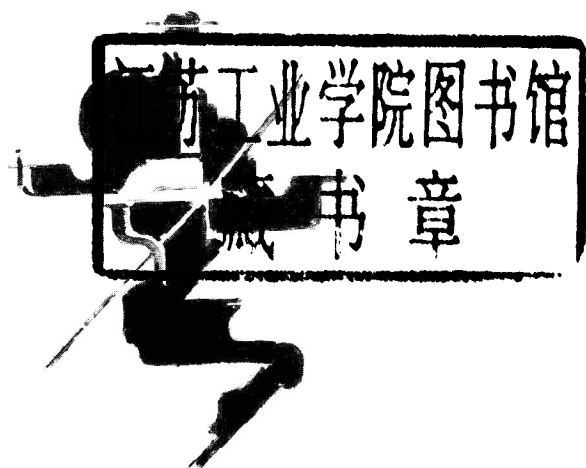




# 海 とつぶやくと

尾崎昭代詩集



うみ  
海 とつぶやくと

1990年10月24日 第1刷発行

著 者——尾崎昭代

〒359 所沢市若狭 2-2580-79

装 画——山内 量

発行所——書肆とい

〒162 東京都新宿区住吉町 3-15-202

T E L 03-358-0108

振替東京 2-353421

発行者——高橋順子

印刷所——三協美術印刷

製本所——松栄堂

定 価——2060円（本体2000円）

©Akiyo Ozaki, 1990

海とつぶやくと——目次

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |   |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 早  | 城  | 蜥  | 言  | Ⅱ  | 午  | 霧  | 空  | 讚  | 朝  | 春  | 公  | 朝  | 今  |    |   |
| 春  | お  | 蜥  | 葉  |    | 睡  | 降  | 地  | 歌  | の  | にな | 園  | の  | 日  |    |   |
|    | ま  | 蜥  | につ |    |    | 高  |    |    | 海  | って |    | よ  | の  |    |   |
|    | え  |    | いて |    |    | 原  |    |    |    |    |    | ろ  | は  |    |   |
|    | は  |    |    |    |    | と  |    |    |    |    |    | こ  | じ  |    |   |
|    |    |    |    |    |    | ぐ  |    |    |    |    |    |    | ま  |    |   |
|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | り  |    |   |
| 48 | 46 | 42 | 40 | 34 | 30 | 28 | 26 | 24 | 22 | 20 | 18 | 16 | 12 | 10 | 8 |

|          |    |
|----------|----|
| 仔猫に      | 50 |
| 誕生日      | 52 |
| 休日       | 56 |
| とりとめもなく  | 58 |
| 中秋       | 60 |
| あたらしい年   | 62 |
| Ⅲ        |    |
| 海 とつぶやくと | 66 |
| けものの夜    | 68 |
| 草原の夢     | 70 |
| 夢の風景     | 72 |
| 白日夢      | 80 |
| 六月十四日の夢  | 82 |
| 速度       | 86 |
| 十月       | 88 |
| 夢でなく五月   | 90 |
| あとがき     | 92 |



海ついでへへへ





## 今日のはじまり

こどもたちの

まあたらしい制服がでかけた

パンジーの鉢に水をやっている

みごもった白猫がやってくる

首すじをすりつけて若葉が濃くなったのを

確かめている

きのうと同じしぐさで

パステル画ふうの雑木林から

ざわめきが聞こえてきた

フルートの音に似た若い声

今日のはじまりは平穏だ

日々を　ていねいに整えてきた

とは言えないので

失速してしまった言葉たちを

砕け散った夢を

どうやって拾い集めようか

思案しながら

いちにちがはじまる

## 朝のよろこび

洗濯ものを 空のまんなかにかける  
いちにちぶんの 疲労 秘密 放埒

血のあと 罪のきず 夢の残滓  
濯がれて 流されて 陽にほされて

さり気なく乾いて もとどおりになって  
わたしたちはくりかえす

降りそそぐ 朝のひかりは  
千篇の詩より まばゆく

あなたの笑顔は

春に 拮抗している

## 春のことも

(少年)

五月の雨に濡れて  
走ってきた脛

おまえの前にひろがる

芽吹きはじめたばかりの森

謎の迷路の未知に

これから飛ぶ

無防備の無計画の未整理の

幼なさと思慮深さの交差した  
燃えたつもの目映いもの

わたしから誕生し

そして わたしではないもの

いつか足元から飛びたつ鳥

五月は はじまったばかり

(少女)

芽吹きと実のあわいにある

うかぶほのかさ

こどもとおんなのあわいに

たたずむはかなさ

咲いているときには知らなかった  
散ってしまったあとで  
花だったことに気づく  
今 うつくしく咲いている